

八鹿町のうつりかわり

(平成12年・二〇〇〇年現在)

西暦	年号	町のおもなできごと	関係すること
一八六八年	明治一年	<ul style="list-style-type: none"> ・久美浜県にはいる。 	<p>各地に小学校ができる。 鉄道ができる。 (新橋〜横浜)</p>
一八七一年	四年	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡県にはいる。 	
一八七二年	五年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりができる。 	
一八七三年	六年	<ul style="list-style-type: none"> ・八鹿村に初めて郵便電話局ができる。 	
一八七四年	七年	<ul style="list-style-type: none"> ・宿南、八鹿、国木小学校ができる。 	
一八七五年	八年	<ul style="list-style-type: none"> ・伊佐小学校ができる。 	
一八七六年	九年	<ul style="list-style-type: none"> ・巡查屯所が八鹿村に設置される。 	
一八七七年	十年	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡県をやめ、兵庫県となる。 	
一八七八年	十一年	<ul style="list-style-type: none"> ・国木小学校をやめて、洗心小学校が米里にできる。 	
一八七九年	十二年	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬聖人・池田草庵がなくなる。 	
一八八〇年	十三年	<ul style="list-style-type: none"> ・村会議員の選挙がはじまる。 	
一八八一年	十四年	<ul style="list-style-type: none"> ・八木小学校ができる。 	
一八八六年	十九年	<ul style="list-style-type: none"> ・屋岡小学校ができる。 	
一八八七年	二十年	<ul style="list-style-type: none"> ・四年で卒業する尋常小学校(屋岡)と三年で卒業する簡易小学校(伊佐、宿南、八木、洗心、小佐、石原)ができる。 ・八鹿に製糸工場ができる。 ・山陰義塾が屋岡小学校の一部をかりてできる。 	

一八八八年	二十一年	・機械で糸をとる八鹿製糸ができる。	(22) 大日本帝国憲法がで きる。
一八九二年	二十五年	・養蚕業組合ができる。	(27) 日清戦争はじまる。
一八九四年	二十七年	・八鹿村に消防組合ができる。	
一八九五年	二十八年	・屋岡小学校に高等科ができる。	
一八九六年	二十九年	・八鹿警察署ができる。郡制がしかれ、八鹿村に養父郡役 所がおかれる。	
一八九七年	三十年	・県立簡易養蚕学校ができる。修業年限二年。	
一八九九年	三十二年	・八鹿製糸所が但馬製糸所にかわる。	
一九〇〇年	三十三年	・兵庫県立養蚕学校となり、修業年限も三年になる。	尋常小学校の授業料は 全て国庫負担となる。
一九〇一年	三十四年	・養父郡農事試験場が設置される。	(37) 日露戦争はじまる。
一九〇三年	三十六年	・伊佐、宿南小学校に高等科がおかれる。	
一九〇六年	三十九年	・八鹿小学校に子守学校が開設される。	
一九〇八年	四十一年	・養父郡役所が京口に移転する。	
一九〇九年	四十二年	・妙見山が日光院の所有に復帰する。	
一九一一年	四十四年	・県立養蚕学校に女子部ができる。八鹿駅が開設される。	(45) 山陰線が開通。
		・八鹿郵便局が屋岡大橋のつきあたりに移転。	
		・協和尋常小学校ができる。(高柳)	
		・鉄道 八鹿く豊岡間が開通。	
		・協和尋常小学校に高等科がおかれる。	

西 曆	年 号	町のおもなできごと	関係すること
一九一三年	大正二年	・八鹿村から八鹿町となる。	(3) 第一次世界大戦がはじまる。
一九一四年	三年	・郡是製糸が但馬製糸場を買い、八鹿工場をつくる。	
一九一六年	五年	・八鹿町商工会ができる。	
一九一七年	六年	・高柳、八木、宿南に小作争議がおこる。	(7) 各地に米騒動おこる。
一九二〇年	九年	・小佐小学校に高等科がおかれる。	
一九二一年	十年	・八鹿信用購買組合、伊佐信用購買組合が設立される。	(12) 関東大地震おこる。
一九二三年	十二年	・宿南信用購買組合が設立される。	(14) 北但大地震おこる。
		・郡制が廃止される。	ラジオ放送はじまる。
		・養父郡公会堂が京口に建設される。	(6) 満州事変。
一九二七年	昭和二年	・小佐小学校全焼、井村訓導殉職。	
一九三三年	八年	・八鹿小学校で給食がはじまる。	
一九三四年	九年	・室戸台風により、大きな被害をうける。	
一九三八年	十三年	・八鹿郵便局、局舎を新築する。	(14) 第二次世界大戦はじまる。
一九三九年	十四年	・全但交通株式会社が発足する。	
一九四一年	十六年	・学校が国民学校となる。	(16) 太平洋戦争はじまる。
			(17) 食塩の配給制。
			学童疎開。

一九四四年	十九年	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸国民学校の児童が集団疎開してくる。 	
一九四六年	二十一年	<ul style="list-style-type: none"> ・八鹿病院ができる。 	
一九四七年	二十二年	<ul style="list-style-type: none"> ・高柳、八鹿、伊佐、宿南に新制中学校が発足する。 ・国民学校を小学校に改める。 	
一九四九年	二十四年	<ul style="list-style-type: none"> ・県立八鹿農蚕高等学校は校名を八鹿高等学校に変更する。 ・八鹿中学校の新校舎ができる。 	
一九五五年	三十年	<ul style="list-style-type: none"> ・町村合併により、新しい八鹿町が生まれる。 ・町章が決まる。 	
一九五八年	三十三年	<ul style="list-style-type: none"> ・朝倉にごみ焼却場が完成する。 	
一九五九年	三十四年	<ul style="list-style-type: none"> ・八鹿音頭ができる。 	
一九六一年	三十六年	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢湾台風により、大きな被害をうける。 	
一九六三年	三十八年	<ul style="list-style-type: none"> ・国道九号、八木川大橋が完成する。 	
一九六四年	三十九年	<ul style="list-style-type: none"> ・浅間トンネルが開通する。 ・八鹿町学校給食共同調理所を開設する。 	
一九六五年	四十年	<ul style="list-style-type: none"> ・八鹿町歩こう会ができる。 ・第一回八鹿町文化祭が開かれる。 ・舞狂山テレビ塔が完成する。 	
一九六六年	四十一年	<ul style="list-style-type: none"> ・伊佐幼稚園が新設される。 ・八鹿統合中学校が完成する。 	
			<p>(20) 広島、長崎に原爆投下、戦争がおわる。</p> <p>(21) 農地改革。</p> <p>(22) 東京オリンピック。 東海道新幹線開通。</p> <p>テレビが普及しはじめる。</p>

西 暦	年 号	町のおもなできごと	関係すること
一九七一年	四十六年	<ul style="list-style-type: none"> ・養父郡ごみ処理場ができる。(大屋町宮垣) ・八鹿町文化協会が発足する。 	(45)万国博覧会。
一九七二年	四十七年	<ul style="list-style-type: none"> ・養父郡農業協同組合が発足する。 ・八鹿郵便局が京口に移転する。 	(47)沖縄が日本に返還される。
一九七四年	四十九年	<ul style="list-style-type: none"> ・八鹿町民会館が完成する。 	(47)札幌オリンピック。
一九七五年	五十年	<ul style="list-style-type: none"> ・伊佐保育所開設される。 	オイルショック。
一九七六年	五十一年	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬農業高等学校が新設される。 	
一九七七年	五十二年	<ul style="list-style-type: none"> ・宿南保育所開設される。 ・伊佐、浅間のほ場整備完成。 	
一九七八年	五十三年	<ul style="list-style-type: none"> ・伊佐橋が新しくなる。伊佐地区公民館が完成する。 ・八鹿小学校本校舎改築工事完成する。 ・小佐保育所開設される。 ・舞狂橋が完成する。 ・養父郡広域消防本部ができる。 ・老人大学とが山学園ができる。 ・とが山古墳公園完成。 	(53)日中平和友好条約が結ばれる。
一九七九年	五十四年	<ul style="list-style-type: none"> ・小売商業団地「ベア」オープンする。 	

<p>一九八二年 一九八四年</p>	<p>五十七年 五十九年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食共同調理所が九鹿に移転される。 ・ 八鹿町商工会館が完成する。 ・ 老人福祉センターが完成する。 ・ 八鹿町役場新庁舎が完成する。 ・ 八鹿警察署が新しくなる。 ・ 右岸道路ができる。 ・ 小佐地区コミセンができる。 ・ 養父郡衛生公園が完成する。 ・ 八鹿病院管理棟が完成する。 ・ つるぎが丘公園体育館、公園グラウンドが完成する。 ・ 高柳幼稚園舎が完成する。 ・ 上小田橋が完成する。 ・ 名草神社三重塔が復元される。 ・ 妙見に文学碑ができる。 ・ 名誉町民小島徹三さん（元法相）ご逝去。 ・ 養父郡ごみ処理場（琴弾クリーンセンター）が完成。 ・ 町民体育館（京口）が完成する。 ・ 八鹿大橋（小佐口——国道九号を結ぶ）が完成する。 ・ 坂本に路線バス（八鹿——出石）開通する。 ・ 町営大徳霊園が完成する。
<p>一九八五年</p>	<p>六十年</p>	
<p>一九八六年</p>	<p>六十一年</p>	
<p>一九八七年</p>	<p>六十二年</p>	
<p>一九八八年</p>	<p>六十三年</p>	
<p>一九八九年</p>	<p>平成 元年</p>	
<p>(62) 筑波で科学博。 国鉄、民営化される。</p>		

西 暦	年 号	町のおもなできごと	関係すること
一九九〇年	二年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八鹿幼稚園・小佐保育園が完成する。 ・ 高柳谷構造改造センターが完成する。 ・ 町内初の下水処理施設が朝倉にできる。 ・ 台風十九号で大きな被害。 	
一九九一年	三年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿南小学校体育館が完成する。 ・ ようか温水プール完成する。 	
一九九二年	四年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天文館「バルーンようか」が完成する。 ・ 台風十九号で大きな被害。(夫婦杉倒れる) ・ 円山川右岸道路全線開通。 	
一九九三年	五年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八鹿病院「看護専門学校」ができる。 ・ 宿南小学校・幼稚園舎が完成する。 	
一九九四年	六年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八鹿町でも冷害による被害。 ・ 箕谷古墳群を整備・復元。 ・ 但馬全天候運動場がオープンする。 	<p>(6) 但馬・四季彩'94が開幕。 但馬空港が開港。</p>
一九九五年	七年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小佐小学校体育館完成する。 ・ 八鹿小学校の校舎改築工事が完成する。 ・ 県下初の救急用ヘリポートが完成する。 	
一九九六年	八年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町地域福祉センターがオープンする。(八鹿病院内) ・ 八木城跡が国史跡に指定される。 	<p>(7) 阪神・淡路大地震、但馬は大雪。</p>

一九九七年	九年	<ul style="list-style-type: none"> ・小佐簡易水道に県下初の浄水システムができる。 ・伊佐小体育館が完成する。 	
一九九八年	十年	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬長寿の郷がオープンする。 	
一九九九年	十一年	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の完成により石原区までバスが運行。 ・伊佐小学校・幼稚園舎が完成する。 	
二〇〇〇年	十二年	<ul style="list-style-type: none"> ・養父郡CATV情報センター完成する。 ・琴弾クリーンセンターに排ガス高度処理施設完成する。 ・名誉町民佐々木良作さんご逝去。 	(10)長野オリンピック。

おわりのことば

より豊かで住みよい八鹿町をつくるのは、みんなのねがいです。

このねがいを実現するために、みなさんが、八鹿町の歴史や文化、産業やくらしなどを学習する手がかりとして役立つよう、新しくつくりかえました。

みなさんが、この町を愛し、この町の将来に夢をふくらませてくれるような学習に、この本を活用してください。

改定にあたって、八鹿町・八鹿町教育委員会をはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成十三年三月三十一日

社会科学習資料「ようか」

編集 八鹿町教育研修所

編集委員

土野 信義（八鹿小学校校長）
田中 勲（八鹿小学校教頭）
久保田政実（八鹿小学校教諭）
吉田 博治（高柳小学校教諭）
宮谷 吉子（高柳小学校教諭）
岸本 達也（八鹿小学校教諭）
小林みどり（伊佐小学校教諭）
竹内 悦子（伊佐小学校教諭）
井垣 好市（小佐小学校教諭）
安本 靖史（小佐小学校教諭）
松田 満（宿南小学校教諭）
山崎真佐子（宿南小学校教諭）

発行

昭和六三年三月三十一日 初版発行
平成四年七月三十一日 第一回改訂
平成一三年三月三十一日 第二回改訂

印刷所

八鹿町教育委員会
全但印刷工業株式会社